

地域の概要



屋久島町全体の人口は11,151人、高齢化率は38%〔R7.12月末現在〕。生活圏域は北部地域11集落（口永良部島含む）、南部地域15集落に分かれている。地域資源が多い地域と少ない地域があり、買い物や移動などの地域課題がある。

取組のきっかけ

地域資源の情報をもっと周知し、必要な方へ届けたいという思いから取り組みを始めた。南部地域が令和3年に作成した「屋久島町南部インフォーマルサービス一覧」をベースに、さらに必要な掲載情報は何か、検討していった。

取組の目的

町内の地域資源の情報の整理→情報提供→活用

これまでの経緯

年・月	出来事
令和6年1月	1層2層SC、北部包括支援センター職員と打ち合わせ 島内の介護サービス事業所3カ所のホームヘルパーへ聞き取り
令和6年2月	聞き取りした内容等を参考に、調査先の店舗を検討
令和6年3～4月	調査先の店舗リスト作成、北部地域各店舗へ聞き取り
令和6年9～10月	調査結果の整理、記載事項の検討
令和7年1月	南部地域各店舗へ聞き取り
令和7年3～6月	その他、美容院や有償ボランティアなど電話での聞き取り
令和7年7月	印刷、製本
令和7年8月	配布

活動の概要

【掲載内容】

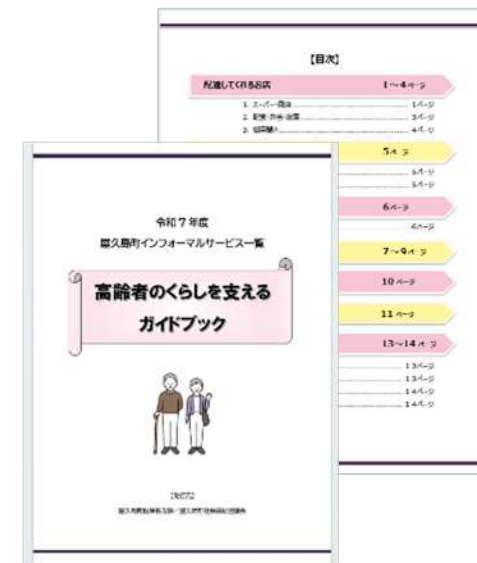
配達してくれるお店（スーパー・商店、配食・弁当・惣菜、御用聞き）、困ったときのサービス（便利屋、福祉タクシー）、その他サービス（出張カット）、集いの場・サロン、地域食堂、有償ボランティア、公的機関（介護予防教室、オレンジカフェ、クローバーの会、相談窓口）等

【設置場所・配布先・掲載場所】

設置場所：役場、社会福祉協議会
 配布先：介護サービス事業所、地域包括支援センター、区長、民生委員、掲載店舗
 掲載場所：屋久島町ホームページ

【作成に関わった人・団体】

生活支援コーディネーター、役場、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各店舗



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

【行政担当者としての役割】

- SCとの情報共有
- ケース会議等、課題解決のための情報の活用

【SCとしての役割】

- 各店舗への情報聞き取り調査
- 情報の定期的な更新
- コーディネーター通信や屋久島町ホームページでの紹介

現時点での到達点（効果・課題など）

【効果】

- ケアプランを作成する際に、住民主体の通りの場の活動日時がわかり、配慮してプランを組むことが出来た。
- ご家族にインフォーマルサービスの説明をする際に、冊子を活用することで伝わりやすかった。

【課題】

- ガイドブックに記載しない情報も含め、ニーズに応える為の受け皿を作れるよう、常に地域住民からの情報収集に努めることが必要。
- 定期的に情報を更新し、正確な情報提供を「継続」していく。
- より広い場面で活用されるよう、広報・周知も続ける。